

生産性向上支援訓練 利用者の声

受講コース：生産性分析と向上
(令和7年2月5日)
(令和7年10月8日、11月12日)

受講事業所基本情報

- ・事業主名 株式会社イー・アール。ジャパン
- ・所在地 福山市箕沖町106番5
- ・事業内容 情報通信機器再商品化、
使用済み家電製品の中間処理

訓練内容

(コース名) 001生産性向上と分析

【ねらい】

・安全第一を大テーマとして、事故の無いよう5S基本を習得、工場運営における、円滑なコミュニケーション、チームワークの重要性を理解し、他部門との業務連携を図り生産性を高める知識を習得する。

1. 生産方式と生産性
 - (1) 生産性向上
 - (2) 生産性を上げる多能工
2. 現状分析と効率化
 - (1) 現状分析
3. 改善活動
 - (1) 5S
 - (2) ムダ発見とムダの排除



訓練受講(演習)の様子



本社内工場の様子

具体的な成果

訓練後、当社では『連携強化による業務運営と効率化』を経営スローガンに掲げ、ムリ・ムラ・ムダを減らして仕事の効率化を全社的に推進しています。生産性向上支援訓練で学んだ事の実践を職場全体で推進体制を構築し取り組んでおります。また障がい者従業員の職場環境を考え、環境の整備、ジョブコーチ資格者も1名⇒4名に増員し、働きやすい職場・雇用を推進しております。現場では基本的に忠実に、安全・安心な職場の姿を実践する体制として、レイアウト・作業手順、作業場の見直し・改善をはかり生産性向上をはかっております。また可視化も積極的に進めており、目標と実績が確認できる体制としました。

受講者の声

5sの重要性や割れ窓理論、ハインリッヒの法則などを学び、職場を常に綺麗に保つ環境に努めております。通路の確保や気づきで、作業効率を上げられるようにラインテープを引いて通路を確保し、社員全員が同じルールと意識を持ち生産性向上に努めています。またヒヤリハットが起こる事が無いよう発生抑止に努め、誰もが安心して働ける職場づくりに努めていきたいと思っております。



解体課 久保坂 忠男 様

事業主の声

当社は設立2012年4月。2014年1月から小型家電リサイクルプラントを稼働させています。現在、従業員88名のうち構成比36.4%にあたる32名が障がい者であり、障がい者雇用に積極的に取り組んでいます。工場稼働年数は11年と非常に浅く、これまでの間に工場運営並びに管理監督者を対象としたマネジメント研修を実施したことは無く、経験豊富な数名のリーダーによって操業を支えてきました。事業規模拡大を図るために、工場の安全運行を第一に考え、生産効率の向上を高めるとともに、従業員同士の連携を高める方法が無いかを模索していた時に、この支援制度を知り受講申し込みをいたしました。

5Sの研修を実施する事によって、職場内の整理整頓が進み、課題の早期発見も可能となりました。一番の効果は従業員の意識改革が出来たことだと思います。日々の業務の中で5s推進の重要性を、理解し、継続して実施できている事は、生産性向上と事業拡大につながっていると、感じています。



代表取締役社長
乗常 久志 様